

ダイケンのカーハウス〈CH-KS・KB型〉

取扱説明書

ご愛用の皆様へ

- この度は、ダイケンのカーハウスをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、カーハウスの正しい取扱方法を、十分ご理解いただき、末永く安全にご使用いただくことを、お奨めいたします。

工事店・施工主様へ

- この取扱説明書をご使用になる方へ必ずお渡しください。

下記事項を必ず記入し、保管してください。

購入年月日	:	年	月	日
購入店名	:			
機種名	:			
鍵ナンバー	:	(手動シャッター)		
	:	(オプション・片引戸)		
	:	(オプション・片開きドア)		
オプション・リモコンシャッター MODEL 記号	:			
	:	(リモコンの裏側に記載されています。)		

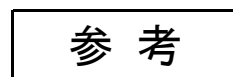
安全にお使いいただくために

- 本書では、安全性に関して重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して商品の取扱いを正しく行ってください。また、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防止するため、次のような表示をしています。



注意

: この表示を無視して取扱を誤ると使用者が重傷を負う危険や物的損害の発生が想定されます。



参考

: 取扱や保守上において、知っておく必要のあることや支障無く使用するための取扱やお手入れ方法など。

修理のご案内

- 修理に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 製品に関するお問い合わせ又は、万が一不都合な点については、下記弊社営業所へご連絡ください。



株式
会社

ダイケン

成田工場 TEL (0476) 90-0711 (代)

本社 TEL (06) 6392-5321 (代)
札幌支店 TEL (011) 232-3017 (代)
東京支店 TEL (03) 3633-6551 (代)
名古屋支店 TEL (0586) 77-7561 (代)
大阪支店 TEL (06) 6392-5556 (代)
盛岡営業所 TEL (019) 648-2220 (代)
仙台営業所 TEL (022) 235-4380 (代)
埼玉営業所 TEL (048) 667-9381 (代)

神奈川営業所 TEL (045) 316-3901 (代)
静岡営業所 TEL (054) 237-5375 (代)
岡山営業所 TEL (086) 297-9100 (代)
広島営業所 TEL (082) 294-9181 (代)
福岡営業所 TEL (092) 482-8112 (代)
東京西出張所 TEL (042) 567-1338 (代)
ホームセンター課 TEL (03) 3633-6552 (代)

1. 使用上の注意



注意

- 屋根に乗ったり、物を載せたり、ぶらさがったりしないでください。
- みだりに改造・変更しないでください。
- 家の屋根からの雨水が直接落ちないようにしてください。雨漏りの原因になる可能性があります。
- 積雪時には、
 - ① 早めに雪降ろしをしてください。
 - ② 雪降ろしのため屋根にのる場合は、足元が滑り易いため十分注意の上、作業してください。

項目	製品名	CH-KS (一般型)	CH-KS (多雪型)
		CH-KB (一般型)	CH-KB (多雪型)
積雪強度		1200 N/m ² (雪の深さ約60cm)	3000 N/m ² (雪の深さ約100cm)
雪降ろし目安		40 cm	70 cm

※雪の深さは目安で、雪質により異なりますので、早めの雪降ろしをお願いします。

- 台風や強風が予想される時は、シャッターが外れる恐れがありますので必ず施錠してください。
- シャッターの開閉時に、手や足を挟まない様に注意してください。
- エンジンをかける場合は、シャッターを開け換気してください。
- 庫内を遊び場・住居の一部などに使用しないでください。
- 庫内で子供を遊ばせないでください。
- 乱暴に扱ったり、揺すったりしないでください。
- 製品に物をたてかけないでください。
- 棚板(別売品)には、極力1ヶ所に集中して物を載せないでください。

オプション内容	許容荷重
8 型棚板 (幅390mm×800mm)	1枚当たり=600 N (60Kgf) 以下
12 型棚板 (幅390mm×1200mm)	1枚当たり=900 N (90Kgf) 以下

- 屋根パネルの小口に体が触れる場所に設置する時は、カバー等の追加工事をしてください。オプション雨樋の取付をお奨めします。

2. 手入れの方法

参 考

- 屋根には枯葉やゴミがたまります。定期的に掃除をしてください。
- 汚れたら水洗いやワックスがけ等をしてください。
- 傷が付いた場合、なるべく早く補修してください。
- 部品が落ちていないか、ボルトや金具類のゆるみがないか、破損が無いかなどの保守点検を定期的に行ってください。
- 鍵の動きが鈍くなった時は、黒煙粉などを用いて、お手入れをしてください。
また、鍵を紛失した場合は、鍵の刻印番号で注文となります。 本紙の表面にそれぞれの番号を必ず控えて頂き、大切に保管願います。